



広島大学

〒739-8511 広島県東広島市鏡山1-3-2
 広報グループ TEL 082-424-3701
<https://www.hiroshima-u.ac.jp/>

広島大学

Hiroshima University



アイダホ大学広島キャンパス開校式での集合写真
 (2026年8月21日開催)

「平和を希求する精神」のもと、 豊かな国際性と卓越した教育・研究力で 被爆からの復興を象徴する総合研究大学

SUMMARY

広島大学の特徴は、1945年8月6日に人類史上初めて原子爆弾が投下された広島に開学した「平和の大学」であることです。また戦禍の爪跡が残る1949年に新制大学として誕生して以来、被爆からの復興と共に歩みを続け、現在は中四国地域で最大規模の総合研究大学として発展しています。

「平和を希求する精神」を理念の第一に掲げ、独自の平和教育やグローバル人材の育成などに取り組むと同時に、大学の強みであるキラルノット超物質、半導体、ゲノム編集、創薬・臨床研究という研究分野で世界をリードする役割を果たしています。「平和を希求し、チャレンジする国際的教養人の育成に全力で取り組み、100年後にも世界で光り輝く大学を目指しています」と越智光夫学長は意気込みます。



おちみつお
越智光夫学長

広島大学医学部卒業。島根医科大学教授、
 広島大学大学院医歯薬学総合研究科教授、
 広島大学病院長などを歴任。2015年より
 広島大学学長。専門は膝関節外科。

01 世界でも類を見ない「平和の大学」

「平和を希求する精神」が掲げられ、「新たな知の創造」「豊かな人間性を培う教育」「地域社会・国際社会との共存」「絶えざる自己変革」が続きます。「理念の第一に平和を希求する精神を掲げる大学は、世界でもあまり類を見ないのではないだろうか。広島大学らしい理念であり誇りに思っています」と越智光夫学長は話します。

この理念は、教育にも具体化されています。11年度から全学部で必修化した「平和科目」では、戦争・紛争、核廃絶などに加え、貧困、飢餓、人口増加、環境、教育、文化など多様なテーマから平和について考え、理解を深めることを目標としています。

「学生から提出された『平和を考えるレポート』の中でも、特に優れたものを優秀賞として表彰しています。また、18年度からは各国の政府代表者や在京大使らを抱き、平和をテーマに『講演いただく』『ピース・レクチャー・マラソン』を実施しています。平和について自ら考え、異なる立場の人と語り合うことは、本学の教育を象徴する取り組みです」(越智学長)

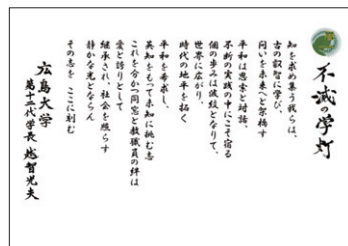
平和教育とともに重視するのが、複雑化する社会の課題に向き合う知識と教養です。政府の「AI戦略2019」に基づき「情報・データサイエンス科目」を全学で必修化し、AI・データサイエンスの基礎を学ぶ環境を整えています。さらに今年8月には東広島キャンパスにアイダホ大学広島キャンパスが開校。国内外の大学や企業と連携し、次世代の半導体産業を担う高度人材の育成にも力を入れています。

幅広い教養を育むのが「大学教育入門」の一環

NOTES (1) 不滅の学灯



2026年8月7日、広島大学の発祥の地・東千田キャンパス(広島市)に建立されたモニュメント。広島大学の母体となった9つの前身校では、原爆投下により1945年末までに少なくとも676人の教職員、学生、生徒が亡くなったと伝えられている。原爆の犠牲となった前身校の人々をはじめ、広島大学に連なる人々が受け継いできた「平和の希求」「知への探究」「社会への貢献」の志を象徴的に可視化し、世代を超えて継承することを目的として建立された。モニュメントには、こうした人々の志を未来へ継承する理念を刻んだ碑文が設置されている。



03 意欲ある人材の学びをサポートする支援体制

次いでいます。研究面では、「持続可能性に寄与するキラルノット超物質拠点」が「世界トップレベル研究拠点プログラム(WP1)」に採択され、約69・5億円を、また、「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業(JPEAKS)」でも総額55億円の支援を受けています。両事業に採択された大学は、本学のほか北海道大学、慶應義塾大学、金沢大学の全国4大学のみです。医療分野では「ワクチン生産体制強化のためのバイオ医薬品製造拠点等整備事業」の採択により約30億円の支援を受け、26年10月、霞キャンパス(広島市)に国内でも希少なワクチン・治験薬製造拠点棟が竣工しました。教育面では西日本で唯一採択された「未来を先導する世界トップレベル大学院教育拠点創出事業(FLEAGS)」による約21・9億円の支援を活用し、教育資源を博士課程教育へ重点的に配分することで、高度専門人材育成機能を強化しています。「これらの大型事業を推進力に、教育・研究・社会実装を一体的に発展させ、被爆地・広島から平和で持続可能な社会の実現に貢献する世界トップレベルの総合研究大学を目指します」と越智学長は言います。

意

欲ある学生が経済的理由で学びを諦めることのないよう、独自の支援策を充実させています。「フエニックス奨学制度」では、学力や経済的困窮度の基準を満たす学部新入生15人程度を対象に、入学料・授業料を免除し、奨学金を月額10万円給付します。「光り輝く奨学制度」では、人物評価や学力・経済的困窮度の基準を満たす学部2年次生若干名を対象に、3年次から授業料を免除し、奨学金月額10万円を給付します。いずれも

02 大学改革を基盤に、大型事業に採択

として全学部の新入生を対象に実施している「世界に羽ばたく。教養の力」です。26年度は作家の佐藤優氏、脳科学者の茂木健一郎氏、京都大学前総長の山極壽一氏らを講師に招いています。「各界のリーダーが学生時代に何を考え、どのように学んだのかを知り、今後の学生生活に生かしてもらいたい」という思いから始めました。幅広い分野から独自の哲学を持つ講師を招き学生の知的好奇心を高める機会になればと考えています」(越智学長)

平和を希求する人材に不可欠なのが、異なる文化や価値観を理解し、世界と対話する力です。本学は、SGU(スーパーグローバル大学創成支援事業)トップ型の採択校として、留学・海外研修や英語の外部試験の受験機会の提供など、国際教育を推進してきました。その成果は、TOEICスコアにも表れ、高得点の学生が年々増加。25年度には学部生の4人に1人、医・歯・薬学部生では2人に1人が730点に到達しています。

世

界トップレベルの総合研究大学を目指すし、さまざまな大学改革を進めています。

「16年には全国の大学に先駆けて、教員人事の全学二元管理を実現しました。従来の学部・研究科ごとの管理から全学的な視点での戦略的な人事へと転換したことで重点分野に人材や資源を集中するとともに分野を超えた学際的研究を推進できる体制が整いました」(越智学長)

こうした改革を基盤に、大型事業の採択も相

広島大学大学院に進学した場合、所定の基準を満たせば継続して支援を受けることができます。このほか、児童養護施設等の出身者を支援する制度や、大学院生・専攻科生のうち学業・研究が優秀な学生を選考し、授業料免除や表彰を行う制度も設けています。

経済的な支援にとどまらず、研究者を目指す学生の成長を長期的に支える仕組みも整えています。独自の人材育成プラン「SPARKPIRAN」は、大学入学前から大学院、さらには研究者としてのキャリア形成までを見据え、研究活動支援や経済面、キャリア形成、ライフイベントと研究活動の両立などを一体的に支援しています。また「広島大学創発的次世代研究者育成・支援プログラム」などの取組では、博士課程後期学生が研究に専念できる環境を整備しており、現在約430人が支援を受けています。

こうした支援に加え、92カ国・地域から1900人を超える留学生が集うキャンパスで多様な文化に触れながら、安心して学び研究に打ち込める環境も広島大学の大きな魅力の一つです。

越智学長は「総合研究大学ならではの、多様な出会いによる挑戦の機会を用意しています。平和科目や国際交流、実践的な学びなどを通じて、専門知識と幅広い視野を同時に身につけられる環境があります。ぜひ本学で『本気の学び』に挑戦し、自らの可能性を大きく広げてほしいと思います」と受験生にエールを送ります。



ひろティー®
 -Protector of Peace-